

2011年度 学校法人立教女学院収支決算について

(学校法人会計 参考資料)

- 資金収支計算
 - ① 毎会計年度、当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入および支出の内容を明らかにする。
 - ② 当該会計年度における支払資金(現金等)の収入および支出のてん末を明らかにする。
- 消費収支計算
 - ① 毎会計年度、当該会計年度の消費収入および消費支出の内容および均衡の状態を明らかにする。
 - ・消費収入とは、帰属収入(負債とならない収入)から基本金に組み入れた額を控除した収入です。
 - ・消費支出とは、会計年度中に消費する用役の対価および減価償却額等の非資金を加えたものです。
- 貸借対照表(決算時の提出書類)
 - ① 年度末における学校法人の財政状態(財産の状態)を表示する計算書です。
 - ・資産とは、教育研究活動に使用される学校法人の財産です。
 - ・負債とは、将来返済しなければならない債務です。

2011年度資金収支計算書

(単位:千円)

収入の部			
科目	11年度予算額	11年度決算額	差異
学生生徒等納付金収入	1,982,373	2,037,240	△ 54,867
手数料収入	42,623	43,348	△ 725
寄付金収入	174,600	167,360	7,240
補助金収入	541,404	561,388	△ 19,984
資産運用収入	53,823	48,350	5,473
事業収入	56,930	53,462	3,468
雑収入	57,538	130,257	△ 72,719
借入金等収入	0	200	△ 200
前受金収入	555,760	640,708	△ 84,948
その他の収入	1,491,111	1,710,209	△ 219,098
資金収入調整勘定	△ 643,935	△ 722,070	78,135
収入計	4,312,227	4,670,452	△ 358,225
前年度繰越支払資金	815,884	886,845	△ 70,961
収入の部合計	5,128,111	5,557,297	△ 429,186

・貸付金の回収額。
・特定の目的のための引当金の取り崩し額。等

翌年度に入学予定の学生生徒等から受け入れる授業料や入学金などです。

収入として計上したが未収となっているものや、前受金収入として前年度までに既に受け入れている収入を差し引くことにより、資金の収入額を調整するためのものです。

(単位:千円)

支出の部			
科目	11年度予算額	11年度決算額	差異
人件費支出	1,906,810	1,984,653	△ 77,843
教育研究経費支出	335,062	319,484	15,578
管理経費支出	246,155	244,164	1,991
借入金等利息支出	29,586	29,586	0
借入金等返済支出	209,948	209,948	0
施設関係支出	174,748	70,822	103,926
設備関係支出	46,373	42,754	3,619
資産運用支出	381,223	577,924	△ 196,701
その他の支出	1,197,182	1,291,076	△ 93,894
予備費	0	0	0
資金支出調整勘定	△ 14,622	△ 20,640	6,018
支出計	4,512,465	4,749,771	△ 237,306
次年度繰越支払資金	615,646	807,526	△ 191,880
支出の部合計	5,128,111	5,557,297	△ 429,186

土地、建物、構築物などを取得するための支出です。

より良い教育研究サービスを提供するために、資金を積み立てるための支出です。

教育研究用の機器備品、その他の機器備品、図書などを取得するための支出です。

支出として計上したが未払となっているものや、前払金支払支出として前年度までに支払っている経費を差し引くことにより、資金の支出額を調整するためのものです。

収入の部

- 学生生徒等納付金収入・・・短大の学生数の見込比増加
- 補助金収入・・・小中高:補助金単価、短:該当特別補助項目の減少
- 雑収入・・・退職金団体からの交付金の増加
- 前受金収入・・・入学者数の見込比増加
- その他の収入・・・退職金支給による引当金の取り崩し等による増加

◎収入合計5,557,297千円となり、予算比で429,186千円の増加

支出の部

- 人件費支出・・・退職金支出増
- 施設関係支出・・・次年度への工事先送りによる減少
- 資産運用支出・・・仕組債の株券償還による有価証券の増加
- その他の支出・・・共済関連の増加等による増

◎支出合計は5,557,297千円となり、予算比で429,186千円の増加

(資金収支規模と次年度繰越支払資金)

- 資金収支の次年度繰越支払資金は807,526千円で、予算比191,880千円の増加となっています。

2011年度消費収支計算書

(単位:千円)

消費収入の部			
科目	11年度予算額	11年度決算額	差異
学生生徒等納付金	1,982,373	2,037,240	△ 54,867
手数料	42,623	43,348	△ 725
寄付金	174,900	168,263	6,637
補助金	541,404	561,388	△ 19,984
資産運用収入	53,823	48,354	5,469
事業収入	56,930	53,462	3,468
雑収入	57,538	135,417	△ 77,879
帰属収入合計	2,909,591	3,047,472	△ 137,881
基本金組入額合計	△ 624,016	△ 380,952	△ 243,064
消費収入の部合計	2,285,575	2,666,520	△ 380,945

学生生徒等が納める授業料や入学金などのこと。聴講料や補講料も含まれます。収入(帰属収入)の67%を占めます。

入学検定料や証明書発行等手数料の収入。

立教女学院一年間のすべての収入で、負債とならない収入です。

良好な教育環境を維持するための施設・設備等の額であり帰属収入から差し引く金額です。

消費支出の部			
科目	11年度予算額	11年度決算額	差異
人件費	1,935,210	1,954,863	△ 19,653
(退職給与と引当金繰入額)	(28,400)	(71,797)	43,397
教育研究経費	637,662	615,942	21,720
(減価償却額)	(302,600)	(296,717)	5,883
管理経費	269,855	262,247	7,608
(減価償却額)	(23,700)	(18,190)	5,510
借入金等利息	29,586	29,586	0
徴収不能額	0	2,351	△ 2,351
資産処分差額	0	22,022	△ 22,022
予備費	0	0	0
消費支出の部合計	2,872,313	2,887,011	△ 14,698
当年度消費支出超過額	586,738	220,491	
前年度繰越消費支出超過額	1,217,520	379,841	
翌年度繰越消費支出超過額	1,804,258	600,332	
帰属収支差額	37,278	160,461	△ 123,183

教職員に支払われる給与などのこと。収入(帰属収入)の64%が充てられています。

立教女学院が使ったお金または用役に対して支出した金額です。

学生生徒等の教育研究のために支出する経費です。

総務、人事、財務、経理等の業務に要する経費、教職員の福利厚生のための経費などです。

帰属収入から消費支出を差し引いたものであり、純資産の増減を示します。

消費収入の部

- 学生生徒等納付金...短大: 予算学生数の見込比増加
- 補助金...小中高: 補助金単価および短: 該当特別補助項目の減少による
- 雑収入...退職金団体からの交付金増

◎帰属収入合計3,047,472千円となり、予算比で137,881千円の増加

消費支出の部

- 人件費支出...退職給与と引当金繰入額増
- 教育研究経費...東日本大震災の影響による節電、キャンプ等の取止め
- 資産処分差額...保有債券の評価損計上

◎消費支出合計は2,887,011千円となり、予算比で14,698千円の増加

(消費収入と消費支出)帰属収入から基本金組入額を差し引いた2,666,520千円が消費収入です。この額が消費支出に充てることのできる金額となりますが、2011年度は2,887,011千円の消費支出であり、消費収入と比較すると220,491千円の消費支出超過となっています。

(帰属収支差額)帰属収入から消費支出を差し引いたものを帰属収支差額といいます。2011年度は160,461千円の帰属収支差額であり、予算比では123,183千円の増加となっています。

2011年度貸借対照表

(単位:千円)

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	10,075,206	10,102,072	△ 26,866
有形固定資産	5,072,923	5,281,195	△ 208,272
その他の固定資産	5,002,283	4,820,877	181,406
流動資産	910,103	931,263	△ 21,160
資産の部合計	10,985,309	11,033,335	△ 48,026
負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	2,015,082	2,262,307	△ 247,225
流動負債	950,934	912,195	38,739
負債の部合計	2,966,016	3,174,502	△ 208,486
基本金の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
第1号基本金	7,831,625	7,650,673	180,952
第2号基本金	600,000	400,000	200,000
第4号基本金	188,000	188,000	0
基本金の部合計	8,619,625	8,238,673	380,952
消費収支差額の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
翌年度繰越消費支出超過額	600,332	379,840	220,492
消費収支差額の部合計	△ 600,332	△ 379,840	△ 220,492
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	10,985,309	11,033,335	△ 48,026

土地、建物、構築物、機器備品及び図書等に代表される固定資産の取得額です。

総合体育館・プールを建設する目的で計画的に積み立てた預金などの資産の額です。

消費収支計算書により算出される運転資金として恒常的に保持すべき資金の額です。

資産の部合計は10,985,309千円となり、前年度比48,026千円の減少となっています。

負債の部合計は退職給与と引当金の増額とリース物件の資産計上により2,966,016千円となり、前年度比208,486千円の減少となっています。

基本金の部は第2号基本金を200,000千円積立しました。